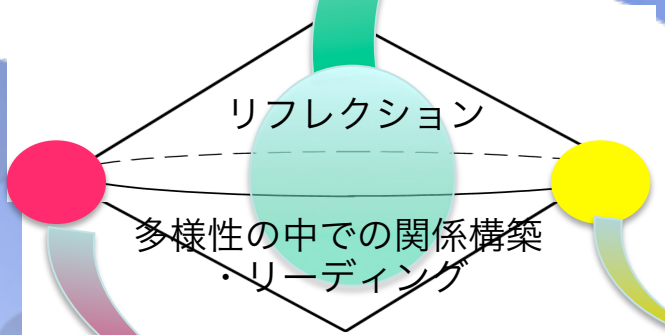


# PSRベーシック・プログラム2017 「リベラルアーツと自分軸の確立」 参加者の声

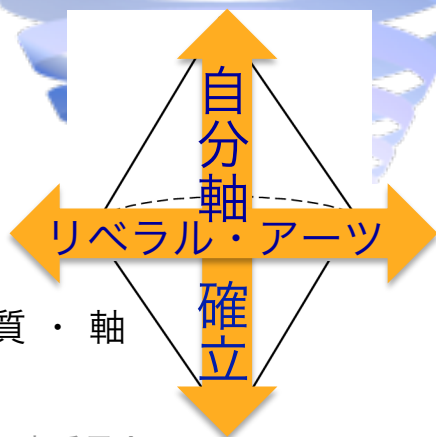
経済人コー円卓会議日本委員会

CAUX  ROUND TABLE

# 実践 (個別コンサルティング)



異文化間における  
創造的合意形成



普遍・本質・軸

## 【PSRプログラム全体像】

- (4) Cauxプログラム：6日間  
(毎年7月上旬開講予定)
- (3) フィールドワーク  
7日間/回 年に2回の実施予定  
\*\*アジア、ヨーロッパで  
各1回想定
- ..... (2) アドバンス・プログラム  
3時間/x 6回 (隔月開催)
- ..... (1) 8ヶ月ベーシック・プログラム  
2日間連続・終日/月 x 8回

# ◆ プログラム受講前と比較してのご自身の変化

## 【自分軸・判断軸が明確になった】

- ▷ 自分軸、自分の価値観が明確になったこと、又それを自身の言葉で語れるようになった。
- ▷ ブレない判断軸の重要性が理解でき、日常的に意識するようになった。
- ▷ 自分の良心に照らし、正しいと思うことを実践する自信と覚悟の獲得。
- ▷ 自分の軸、価値観での判断。決断のみではなく、一度たちどまり、様々な立場にいる人の価値観、考え方を聞くようにもなり、想像するようになった。
- ▷ 自身の判断軸を常に考え、それを元に、自身でもスピーディーにジャッジできるようになってきた。さらに強化していく。
- ▷ 自身の価値観などを改めて考えることができた。
- ▷ 自分の本質を知ることができた。自分一相手一世界を知ること努めたい。

# ◆ プログラム受講前と比較してのご自身の変化

## 【自分軸・判断軸が明確になった】(続き)

- ▷ 自分が大事にしている軸が 1つ2つ見えるようになったことと、自分に足りないものがわかるようになったこと。→ 自問自答しながら最後まで考え、行動すること。
- ▷ 結果の良し悪しというよりは、まずはそこに高潔性が存在するのかといった自分軸で考えるように変わった。

## 【マネジメントスタイルが変化した】

- ▷ マネジメントスタイルが変容して、より信頼し任せること、すぐに結果を褒めず、よく観察しながら見守ることが自然にできるようになってきた。
- ▷ 少しずつだが、マネジメントスタイルに変化を及ぼしている。
- ▷ 対話、余白、共感など、より一層、意識するようになってきている。

# ◆ プログラム受講前と比較してのご自身の変化

## 【考え方、興味、人間の幅が広がった】

- ▷ 考え方の幅が広がった。
- ▷ 本質的なあるべき論への立ち返りが増えた。
- ▷ 自分中心 → 他人への意識
- ▷ 社会動向の背景への興味
- ▷ 興味の幅が少し広がった
- ▷ 自分の受けた学びを違った形で、同僚、部下とどう分かち合えるか考えた。
- ▷ 人間として成長したと改めて思った。
- ▷ 社内で飛び交う多岐にわたる情報の中で、何が根本的で何が表層的かを探り、本質に迫ろうとするマインドを養なえるようになった。

# ◆ プログラム受講前と比較してのご自身の変化

## 【考え方、興味、人間の幅が広がった】（続き）

- ▷ 多面的に物事を考えることが出来るようになったということと、自分を深く知るようになったこと。『多面的』に関しては、今まで考えたこともなかった、社会への影響、社会貢献等も含み、面の数が相当増えたと思う。
- ▷ 悩むようになった。。。
- ▷ 最大の変化は、二項対立的な考えを捨てる、又は、捨てなければならないと気づくことができたこと。それによって、他人の考えを広く受け入れることができるようになり、自分自身、成長できたように実感しています。
- ▷ 2次元から3次元、そして4次元になど物事の見方・捉え方が大きく変わった。

# ◆ プログラムへの参加を通じ、ご自身にとって最も大きな学びとなった点（上位3つまで）

- ▷ 完成されたものばかりが美であり続けるとは限らないという将来（＝押し付けられた西洋的価値観）とは異なる側面を見出せたこと。
- ▷ 企業の根底に根づいている、本来あるべき存在意義
- ▷ 資本主義のこと。利益競争ばかりではなく、“昨日の敵は今日の味方”という考え方。相手を取り込むことで、単一企業とは比べ物にならない大きな力を生み出し、世界を変えられるということ。
- ▷ ルールメイキング。ビジネスに関わる以上、さらなる利益創出、社会への貢献に向けて、イノベーションを行う必要がある。その為に最も効果的かつ効率的な戦略がルールメイキング。今回のセッションを通じて学んだ多くのコツを現在の仕事で試したい。
- ▷ 他人の意見・考えを受け入れやすくなったこと。
- ▷ また、その考え方や切り口を理解しようとするようになったこと  
\*日常業務のやり方に変化あり。
- ▷ 瞬時に判断するときでも、少し心に余裕を持って考えること。
- ▷ 自分自身を知る
- ▷ 経営者の観点を知る。（社会貢献、経営を自分事として考える）
- ▷ チームプレーの重要さ、（一人では限界あり）
- ▷ ブレない判断軸を形成し、磨いていくことの重要性

# ◆ プログラムへの参加を通じ、ご自身にとって最も大きな学びとなった点（上位3つまで） ＊続き

- ▷ 余白、引き算の考え方の重要性
- ▷ ルールメイキング側に回ることの重要性
- ▷ 点-線-面、及び、立体の概念、ビジネスをする上で成り立ちやからくりを意識した。より立体的に物事を構成できるようにしていきたい
- ▷ 自分のスタイル、やり方について、我流と思い自信を持てなかったが、天職や余白といった普通的な考え方による裏づけを得ることができ、明日からの自信とやり抜く覚悟を頂くことができた。（自分軸の萌芽）
- ▷ 自分の思い描く世界を作る上では、二項対立を脱却する必要があること
- ▷ 二項対立を回避/超えていくための余白の重要性かかる余白は多様な価値観を融合し、イノベーションを発生させるためにも非常に重要
- ▷ 見えていることだけではなく、見えていないところをどれだけ読み、本質にたどり着くかという、考え方において多くの切り口があったこと。
- ▷ 事業成長と社会発展を融合し新たな価値を創造する
- ▷ ぶれない軸、持論形成
- ▷ ルールメイキング
- ▷ 喪失点
- ▷ 自分自身の形式、ぶれない判断軸を持つ
- ▷ 宗教・哲学・価値観の源



# ◆ プログラムへの参加を通じ、ご自身にとって最も大きな学びとなった点（上位3つまで） ＊続き

- ▷ 企業の存在意義
- ▷ 信頼を得られる人間になるにはどうしたら良いのか
- ▷ 他人／自分を幸せにするには、何をすれば良いのか（基本軸）



という点について深く考える機会になったこと

- ▷ 日本文化と西洋文化の相置点がわかったこと（特に自然に対する姿勢）
- ▷ 自分自身を幼少期から振り返り、『どんな人』なのかを知れたこと
- ▷ 世界のダイナミクス（動き）の背景にある思想（資本主義＝キリスト教）
- ▷ 他の受講生との意見交換
- ▷ 違ったものの見方
- ▷ 自分について、掘り下げて見つめてみる機会
- ▷ 自分のぶれない軸を作ることにに関して、
  - \*重要性を知った
  - \*方法を知った
- ▷ 視座が上がった。（経営視点、グローバルに考えるなど）

# ◆ プログラムへの参加を通じ、もっとも印象に残っていること

- ▷ 哲学・宗教の話から実ビジネスの話へのつながり
- ▷ 価値感の共有の大切さ
- ▷ オープンであることの大切さとメリット
- ▷ 判断軸の形成に重点がおかれたこと
- ▷ 石田先生のマルチな発想、活動ぶりに脱帽
- ▷ 参加メンバーから多くを学んだ
- ▷ 石田さんの全世界での信頼の厚さ（すごい！）
- ▷ 佐藤さんのムチ打ち（熱い思い）
- ▷ 世界のルールメイキングの方法
- ▷ 今日の枯山水
- ▷ 自分の価値観、はたらきかけの本質
- ▷ 中国古典
- ▷ クリスマスキャロル
- ▷ 石田さんのキャラクター濃い！深い！



- 今まであったことがないタイプで非常に多くのことを教えて頂きました。
- ▷ 龍安寺の石庭にて、想像と意味付け、止観の繰り返しから、特に腑感した精神状態

# ◆ プログラムへの参加を通じ、もっとも印象に残っていること ＊続き

- ▷ 竜安寺。宇宙・ミクロの世界など普通はほとんど気にするとこのない精神世界に浸る機会があったこと。
- ▷ 論話と算監、止観と余白、石庭の謎
- ▷ 竜安寺。講座型による学びとは異なり、実際の現場を見る事によってのみ得られる特別な学びがあった。
- ▷ 哲学+正義、宗教と資本主義、その他多く
- ▷ 竜安寺の石庭。おそらく、家族と観光で見た時と、今回のプログラムで石庭を見た場合では、見方・感じ方が全く違っていたと思う。意識の差が大きいと思った。
- ▷ CSR の “R”部分をResponse + Ability と捉えればいいこと。このことはCSRだけでなく、仕事、プライベート問わず活用できる
- ▷ 龍安寺石庭を訪れたこと。プログラム開講当初から訪れる直前まで何かを考え、感じる中、全く想像できていなかったものの、石庭に行って初めて、自分なりに意味を理解できた。
- ▷ 多様でお互いに認め合う仲間との議論,共感、止揚
- ▷ 龍安寺にて過ごした数時間頭で理解したことを肌で感じたことにより、自分自身の軸、考えを確立できること(全員それぞれ納得性の高い結論に行き着く)
- ▷ 西洋・東洋思想から学ぶリーダーの在りかたと日本（企業）が持つ良き特殊

## ◆ プログラムの一番の魅力

- ▶ これまでの研修で受けた一般的な企業戦略論では、語られていなかった、より広い視点（世界社会）で物事を見ることと価値観の考え方を学べた。
- ▶ 実践的ビジネス研修とは一線を画した不思議な研修、実はマネージメントとして、一人のビジネスマンとして、当然ながら身につけるべき考え方を自由な発想と多面的切り口で学ぶことができた。
- ▶ 普段あまり話ができないような本質的なテーマをメンバー全員で率直に話ができるところ。
- ▶ 自分自身を知り歴史、宗教、哲学などから世界を知るための鍵、ヒント、考え方を持てたこと。世界／自分の捉え方が多角的になった。
- ▶ 意見交換（他人の発表を聞く）
- ▶ 自分の心の中を紐解く
- ▶ 企業の存在価値などに別の見方を捉えられる。
- ▶ 自分と向き合うことによって人生が豊かになる。
- ▶ 竜安寺、宇宙・ミクロの世界など、普通はほとんど気にするとこのない精神世界に浸る機会があったこと。
- ▶ 人類の歴史や文化から辿って、企業の中での振る舞い方を、“メンバー同士で議論しながら”、お互いの意見を尊重し、各々が、答えを出せるところ。
- ▶ 『学ぶ』機会があったこと。今までとは全く異なる切り口で物事を考える機会となった

## ◆ プログラムの一番の魅力 ＊続き

- ▷ 今までの人生で触れてこなかった多くの“点”に触れたこと。宗教、哲学、芸術、社会学、など、これまでとは全く異なる視点からの知識に触れることで、自身の幅が大きく広がった。
- ▷ 正解がない間に自分自身の内なる想い、考え方を投影させながら、意見を把握していく過程で、自問自答して悩むこと。
- ▷ High levelなことに関して、多くの示唆を与えてくれたことかと思います。又、類似のプログラムもないことから、稀有な内容と思います。
- ▷ 通常的生活では、余り考えていなかったり、触れない考え方に接することができて、内省することができた。今後の仕事に活かしていきたいと思う。
- ▷ 日常、仕事、世の中の動きに対するものの見方、フレームワークを身に付けることができたこと（即実践に活用できる、考える時間を取れる）
- ▷ 石田さんという類稀な講師・ファシリテーターの下で、仲間と呼べる皆と議論することで、自分自身の軸、考えを確立できること（全員がそれぞれ、納得性に行き着く）
- ▷ 人間の本質を時間軸、空間軸、又は精神面、宗教面、倫理面等から、追求し、その時点の自分ができること、考え得ることを全て総動員して、表現するストレッチが魅力
- ▷ 形にはまることなく、歴史的事実から自由に意見を出し合える。  
＊事実についても解釈が自由であることも魅力
- ▷ 意見を押し付けずに共感し合える

# CAUX ROUND TABLE